

ひまわり



令和4年6月13日(月)

品性（ひんせい）を高める



昨年と一昨年の修学旅行は、2度の延期を余儀なくされました。今年は新型コロナ感染者数の高止まりが懸念されるものの、明日から3日間、3年生が楽しみにしていた修学旅行が実施できます。予定どおり実施できることに感謝し、74期生の絆と、修学旅行でしかできない学びを深めましょう。

さて、先日、教職員を対象とした道徳の研修会を実施しました。道徳の授業をより充実させるための研修会でした。道徳の学習では、22項目について学習することになっています。また、それを大きく分類すると、①「自分自身に関すること」②「人との関わりに関すること」③「集団や社会との関わりに関すること」④「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の4つの視点に分けられます。

本日は、4つの視点からそれぞれひとつずつ、日々の生活で意識して行動してほしいことを伝えます。

①「自分自身に関すること」では、「善悪の判断、自律」ということを意識して行動しましょう。自分がしようとする行いが、正しいのか、誤っているのかをたえず考えましょう。

②「人との関わりに関すること」では、「親切、思いやり」を意識して行動しましょう。人から、親切にされるうれしいですよね。だから、自分も人に思いやりをもって親切に接しましょう

③「集団や社会との関わりに関すること」では、「規則の尊重」を意識して行動しましょう。ルールや法律を守らない人が増えると、社会は無秩序になり、私たちの生活は脅かされ、安心した日常を過ごせなくなってしまいます。

④「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」では、「生命の尊さ」を意識して行動しましょう。この世の生きとし生けるもの全てに「命」が宿っています。全ての命と自分の命を大切にする心をもちましょう。

日々、このようなことを意識して行動することの積み重ねが、皆さんの道徳性を高め、人としての品性を高めて行くことにつながるのです。

品性：個人がそなえている（道徳的価値として見た）性格。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

